

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立瓜破西小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	平野区
学 校 名	大阪市立瓜破西小学校
学 校 長 名	水上 紀代美

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立瓜破西小学校では、第6学年 28名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立瓜破西小学校の結果概要

○平均正答率

＜国語科＞本校42%（大阪市59% 全国60.9%）＜算数科＞本校39%（大阪市56% 全国56.4%）

両方の教科において大阪市・全国平均を大きく下回った。また、各教科の領域別の結果を見ても大阪市・全国平均を下回っており、無解答率も高い。全体の成績分布を見ると、二極化の傾向が見られるとともに、全国の傾向と比較して下位層の割合が高く、基礎的・基本的な知識及び技能の定着に課題があることがうかがえる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

問題2一の「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える」問題については、大阪市平均及び全国平均を上回る結果となった。このことから、児童は「読み手にどのように読み進めてほしいか」という目的を意識しながら、文章のつながりや構成を考える力が概ね身に付いていることがうかがえる。

一方、問題3三の「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」問題については、大阪市平均及び全国平均を下回り、無解答率も高い結果であった。このことから、文章の内容を理解するだけでなく、そこから得た情報を既存の知識や経験と関連付けて考え、自分の考えを整理・表現する力に課題が見られる。

【算数】

問題3（3）の「異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述する」問題については、大阪市平均及び全国平均を下回る結果となった。このことから、分数の意味や表し方に基づいて異分母の分数の大小を判断する力に課題が見られる。また、記述式問題の正答率の低さや無解答率の高さから、考えた過程や判断の根拠を数や言葉を用いて適切に表現する力にも課題があると考えられる。

質問調査より

質問番号（8）の「自分には、よいところがありますか」に対する肯定的な回答の割合が高かった。普段の教育活動をはじめ、地域との関わりや出前授業等の様々な体験活動に継続して取り組んできたことが、児童の自己肯定感や自己効力感の育成につながっていると考えられる。

一方、質問番号（4）の「1日当たりのSNSや動画視聴の時間」については、4時間以上と回答した児童の割合が半数を超えており、メディア利用時間の長時間化がうかがえる。こうした状況は、家庭学習時間の確保や規則正しい生活習慣の形成に影響を及ぼす可能性があることから、情報モラル教育やメディアリテラシー教育の充実を図るとともに、家庭とも連携しながら、適切なメディア利用や望ましい生活習慣の定着に向けた取組を進めていく必要がある。

今後の取組（アクションプラン）

学力・体力の向上については、大学教員やスクールアドバイザーなどの外部人材から専門的な助言を受けながら、日々の授業改善に組織的に取り組んでいる。また、今年度も放課後学習を実施し、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、学習習慣の確立や学習上のつまずきの解消に努めていく。

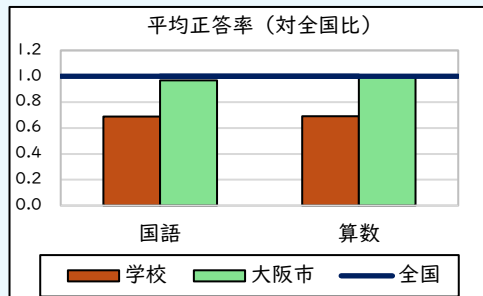
その他の教育活動については、これまで継続して取り組んできた体験学習が、児童の豊かな心の育成やキャリア教育の充実において成果を上げていることから、今後も地域や外部人材との連携を深めながら、より効果的で魅力ある学習活動の実施を目指していく。

また、学校だよりや学校ホームページ等を通じて、家庭学習の充実や望ましい生活習慣の形成の重要性について保護者へ積極的に発信し、学校と家庭が連携・協力しながら児童の育成を支えていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

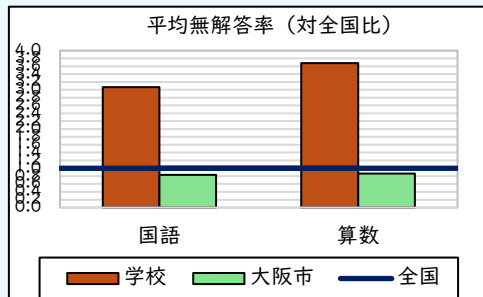
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	42	39
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



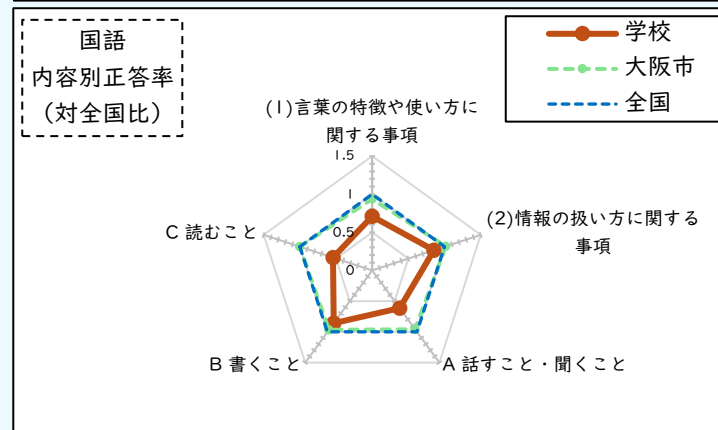
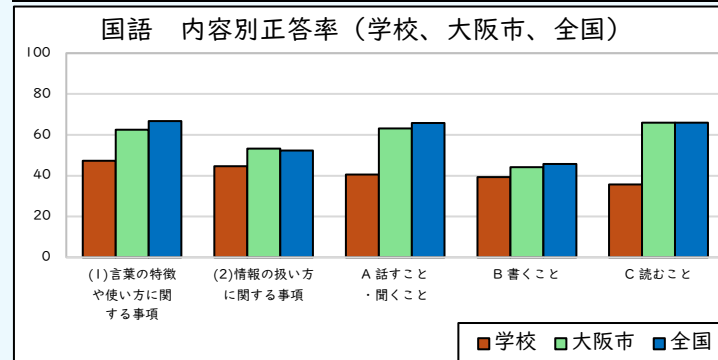
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	10.4	11.8
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



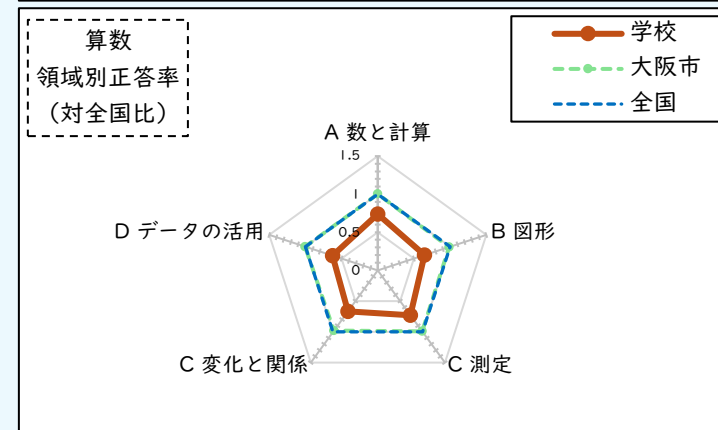
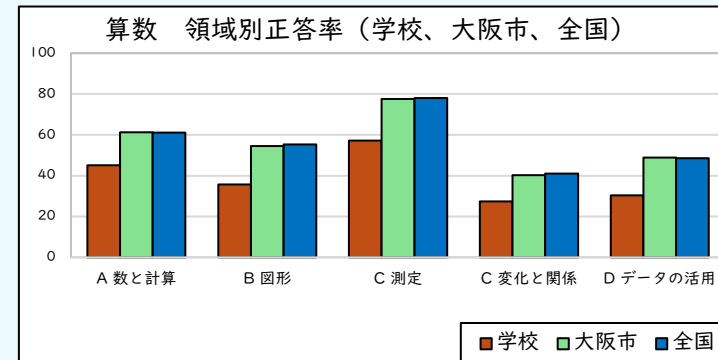
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	47.3	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	44.6	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	40.5	63.1	65.8
B 書くこと	2	39.3	44.2	45.7
C 読むこと	2	35.7	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	45.1	61.2	61.1
B 図形	4	35.7	54.5	55.3
C 測定	1	57.1	77.5	78.1
C 変化と関係	3	27.4	40.3	41.1
D データの活用	4	30.4	48.8	48.6



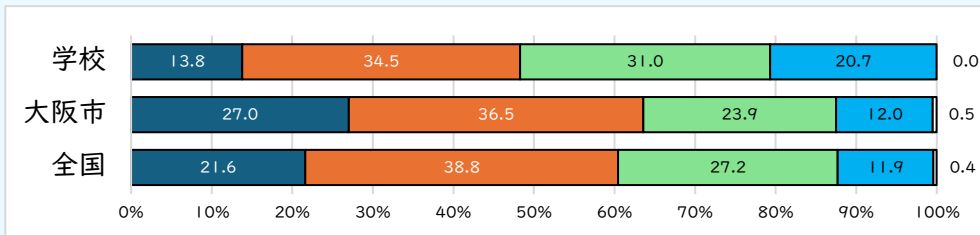
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 □その他・無回答

質問番号 質問事項

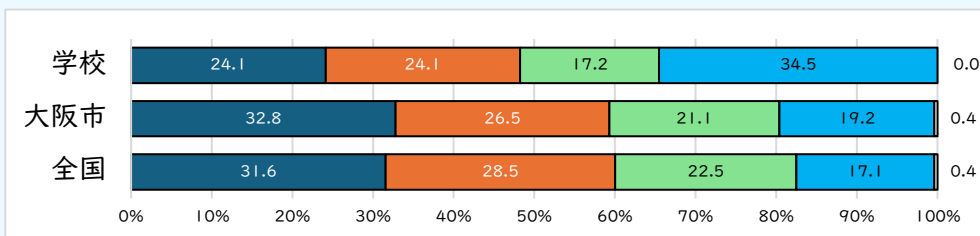
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(52)	国語の勉強は得意ですか
------	-------------



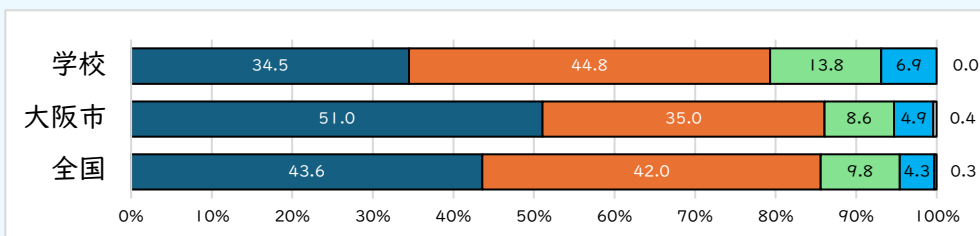
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(60)	算数の勉強は得意ですか
------	-------------



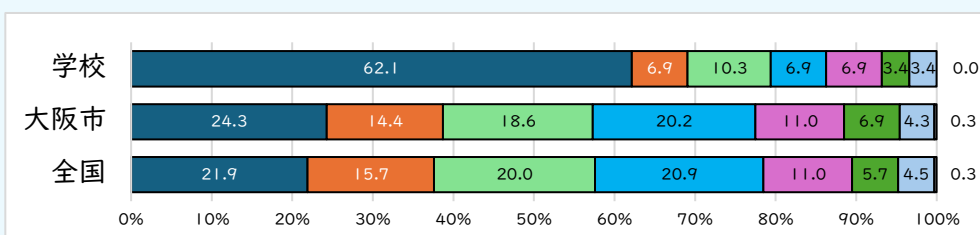
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



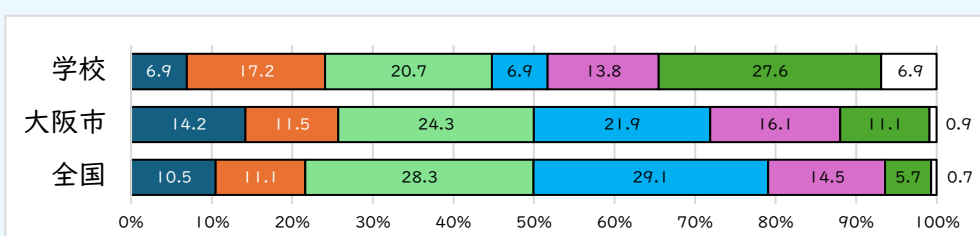
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(4)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）
-----	---



- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 30分以上、1時間より少ない
- 6 30分より少ない
- 7 スマートフォン等を持っていない

(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
------	--



- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしない